

爪の痛みと変形

爪は手の指先や足のつま先にあり、物をつかむ時や地面を踏みしめる時に圧を感じるのに重要で、指先の強度を高めています。

その様な爪に痛みを生じると日常生活に支障を生じてしまいます。爪の変形を生じる病気にはさまざまなものがあります。爪が白く濁って厚くなっていれば爪白癬（水虫）かもしれません。スプーン状に変形していれば鉄欠乏性貧血の可能性もあります。

整形外科を受診される方で多い疾患は巻き爪と陥入爪（かんにゅうそう）です。巻き爪は50歳以降の中高齢で、末梢循環が不良の人に多く、爪が筒状になります。ちなみにヒトの爪は平らですが、他の猿や犬の哺乳類の爪はもともと巻き爪です。当院では巻き爪に対して、形状記憶合金のワイヤーを用いた矯正を行っています。陥入爪は若い男性に多く、爪の角の部分が皮膚に食い込み炎症や細菌感染を起こし痛みを生じます。両者はよく混同されますが、陥入爪は爪が平の人にも起こります。予防としては爪の角を丸く切らず、皮膚から出るように四角く切ることが重要です。難治性の陥入爪には部分的な抜爪などの手術が必要となることがあります。

爪下血腫は物を落としたり挟んだりして爪が青黒くなることです。ズキズキとして、とても痛いケガです。爪の下の閉鎖腔で内圧が高まることで痛みが生じるので、爪に穴を開けて中に溜まった血液を排除することで痛みを和らげることができます。

稀な疾患としてはグロームス腫瘍、爪下外骨腫があります。グロームス腫瘍は指先に強い拍動性の自発痛、圧痛、夜間痛が見られます。小さな腫瘍なので画像検査で発見することは難しく、特徴的な症状から診断します。当院はこの腫瘍にCOX-2という痛みに関連する酵素が発現していることを世界で初めて報告しています。爪下外骨腫は爪の下の末節骨という骨にコブのような余計な骨が付いているもので、爪の変形や痛みを生じます。手術的な切除が治療となります。

このように、爪の痛みと変形の原因はさまざまです。お困りの方は一度医療機関への受診をお勧めします。



リハビリテーション科部長
野内隆治

信州大学1996年卒業、医学博士

ご予約・お問合せはこちらへ

電話予約

04-7123-5901

月曜日～土曜日 9:00～16:00

ただし、祝日および病院指定休診日を除く


kikkoman

キッコマン総合病院

〒278-0005 千葉県野田市宮崎100

電話04(7123)5911(代) FAX 04(7123)5920

<http://hospital.kikkoman.co.jp/>